

平成25年度第2回青森市指定管理者選定評価委員会会議概要

- 1 対象施設 青森市幸畑墓苑
- 2 開催日時 平成25年7月4日(木) 10:00~11:10
- 3 開催場所 青森市役所議会棟4階第1委員会室
- 4 出席者
 - (1) 委員選定評価 委員長 相馬 紳一郎(市長公室次長)
副委員長 鈴木 裕司(総務部次長)
委員 増田 一(企画財政部次長)
委員 永澤 保弘(農林水産部次長)
委員 成田 聖明(教育委員会事務局教育次長)
委員 岩船 彰(青森中央学院大学教授)
委員 佐々木 信一(東北税理士会青森支部税理士)
 - (2) 施設所管課(事務局) 観光課 参事 渡辺 慶隆
主幹 澤谷 泰樹
主事 中川 広樹
 - (3) 制度所管課 市民政策課 主幹 福島 清裕
主事 田中 浩司
- 5 議題 募集要項等に係る審査
- 6 会議概要

初めに、市民政策課より、「指定管理者制度導入基本方針」の改訂内容について、以下のとおり説明があった。

選定基準の「管理について」へ「職員の雇用・労働条件の向上に努めているか」を追加し、応募者には「人件費等内訳書」を提出してもらうこと。

選定基準の「効率性」に関する配点を全体の配点の30%程度から20%程度に変更すること。

次に、配布資料に基づき、事務局(観光課)より、募集要項・仕様書・選定基準・責任区分等を説明。

(1) 審議結果

募集要項等については、指摘された事項を修正した上で募集に当たること、全委員異議無く全会一致で了承された。

(2) 主な質疑内容

委員：募集要項の配布期間が8月1日から9月13日という期間設定はおかしいのではないかと。8月20日に説明会を開催し、質問の締め切りを8月28日にしているが、それを過ぎてから募集要項を取りに来た者は説明会の参加や質問も出来ないのでは不公平になるのではないかと。

- 市民政策課：募集要項の配布期間を説明会や質問締切日後にまで設定しているのは、仮に説明会や質問締切日後にこの募集を知った者がいたとしても、募集要項を配布し、その申請を妨げないように申請の受付期間の最終日にまで配布期間を設定しているとご理解いただきたい。
- 委員：追加した選定基準の「職員の雇用・労働条件の向上に努めているか」の項目の採点方法はどうなるのか。人件費が低い応募者のほうが点数が高くなるのか。
- 市民政策課：高い応募者のほうが点数が高くなる。
- 委員：市が指定管理料基準額の積算に使用した人件費単価を応募者に義務づけることはできないのか。
- 市民政策課：そのような法令等が無いので、そのような義務付けはできないが、今回、選定基準に職員の雇用・労働条件に関する項目を設けたのは、市として、できるだけ職員の雇用・労働条件に配慮した団体を選定したいという考えからである。
- 委員：人件費が高いほうが点数が高くなるとのことであるが、効率性の評価項目で、指定管理料提案額が低い場合に点数が高くなることと矛盾しないか。
- 市民政策課：人件費に配慮しながらも、指定管理料提案額が低い団体を選定したいということである。なお、採点方法については市民政策課で検討中である。
- 委員：選定基準の地域や関係団体との連携内の「ボランティアガイドの活動や組織運営への協力が積極的か」という項目について、観光課として特に重視していると先ほどの説明の中にあったが、それであればこの項目を5点から10点に上げてみてはいかがか。
- 事務局：修正する。
- 委員：仕様書(7)の の口「町内にある保育園の園児による太鼓演奏のお披露目会を実施し、町内会、父兄、関係者との良好な関係の構築に努めること。」と言う記述は具体的過ぎるのでは。指定管理者の自主性、柔軟性を考慮できる内容に文言に直してはいかがか。
- 事務局：そのように改める。
- 委員：冬期間の閉館時間を現行の16時30分から16時に短縮したとしたら、どのくらい経費が削減になるか。この提案を事務局はどう考えるか。
- 事務局：試算したところ約12万円の削減につながる(全体予算の0.6%)。観光課としては、資料館は八甲田の冬期観光の主要な観光資源と考えているので現行どおりの運営を維持したいと考えている。
- 委員：縮減における費用の削減効果も、試算のとおりであればあまり大きな削減と言えないので、現行どおりの運営に異存はない。

委員：仕様書（４）資料の管理及び収集に関する業務 「収蔵庫および展示室における資料を常に良好な状態で保管すること。資料については、年１回以上、台帳との突合ならびに保存状態の点検を行い、資料の紛失や劣化を防止するよう努めること。」とあり、これは大変結構であるが、民間企業等であれば年に１回の台帳突合は当然として年の中間にも行っているところが多い。１回と言わず、複数回資料の台帳確認は行っていけばよいのではないか。

事務局：検討する。